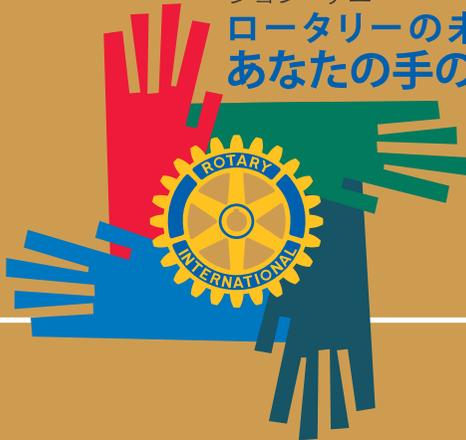


2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ
ジョン・ケニー

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



会長／対馬健一 幹事／中出敏彦

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2009▶2010 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

親睦でクラブの活力と結束を、 そして奉仕は足もとから

プログラム

●本日		会員誕生日		結婚記念日
会員卓話	西谷恭治会員	3月31日	渡邊 裕久	3月31日 武井 哲
		4月4日	角 隆臣	4月1日 佐藤 喜一
●次週予定		ご夫人誕生日		4月3日 佐々木 繁
来賓卓話	留萌観光協会副会長	4月6日	澤田 清子	
	安達 利子様	4月6日	関野 暁美	

No. 2412

第35回 3月31日

出席報告

前例会

会員総数.....44名
 出免会員.....4名
 出免出席.....2名
 出席会員.....33名
 出席率.....78.57%

前々会

第32回 3月3日

出席会員.....36名
 メイクアップ.....0名
 修正出席率.....80.49%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🔪 会長報告

- 本日臨時理事会を開催し、次年度より提案の50周年記念式典の日程を決定致しました。日時は、平成23年6月5日です。また、今年度のGSEの受け入れスケジュールも決定しました。
- 次週は法定休日のため例会は休会です。お間違えないように。

👥 委員会報告

親睦活動委員会 中川委員長
 先週の職場訪問例会には多数参加いただき誠にありがとうございました。また、委員会対抗カラオケ大会では入賞者皆様が賞金をBOXしていただき、重ねてお礼申し上げます。例会を開催させていただいたワールドワンの西谷会員さんにもお礼申し上げます。

📄 幹事報告

会報受領先

- ・羽幌RC No.1488号～No.1489号

IM実行委員会 河部委員長

4月11日に開催されるIMがドンドン迫ってまいりました。3月24日の例会は休会ですが、お昼に実行委員会を開催します。委員会関係者はよろしくお願ひします。

次年度会長 ニノ宮会長エレクト

3月13日14日札幌にて開催された「会長エレクト研修セミナー」PETSに参加してまいりました。次年度の2510地区ガバナーは札幌RCの佐々木正丞氏(北海道ガス(株)取締役相談役)で、RI会長は米国ミズーリ州カークスビルの弁護士レイ・クリンギンスミス氏です。また、RIテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」となりました。

セミナーはグループ討論が中心で4時間にわたり、「クラブリーダーシッププラン」を主に10人程の会長エレクトと討論に参加いたしました。たくさんの勉強をし、貴重な体験をしてきました。



3分間情報.....

会員研修委員会 佐藤(潔)委員
「職業を通じた活動」

ロータリアン達が一番大切にしていること、それが「職業奉仕」です。ロータリークラブは企業経営者、専門職といった職業人の集まりです。会員はそれぞれの職業を代表してクラブに入会します。したがって会員候補者は、その時点で既にその職業において高い見識と業績を積み上げてきていますが、そういった人々が集まって切磋琢磨し、さらに職業倫理の向上に努めるというのが、ロータリーにおいて職業奉仕の基本です。

また自らの企業や専門職についての知識や技術の向上と発展、顧客満足、従業員やその家族に対する責任など、例会をはじめとする様々な会合、ならびに奉仕活動を通してお互いに学び合い、自らの職業において実践すること、これも職業奉仕です。

「四つのテスト」は、ハーバート・テラーというアメリカのロータリアンが、ある企業の再建を引き受けた時に考えた倫理的指針です。彼はこれによって見事にその企業の再建を果たしました。それ以来、ロータリアン達に職業倫理の指針として広く愛用されています。

さらに職業奉仕には、自らの職業における専

門知識を通して地域社会や国際社会に貢献するという考えも含まれています。

(四つのテストについて、おもしろい事が出ていたので紹介します。)

1969年7月20日、アポロ11号の3名の宇宙飛行士の内、月面着陸船の操縦士バズ・オールドリンは、月面に四つのテストのピンを置いてきた。

これは、奉仕の一世紀(国際ロータリー物語)デビット・フォワード著書「職業奉仕」よりの抜粋に出ていたもので、このことについてインターネットで調べて見ましたが、一切掲載されておりませんでした。少しでも軽量化をしなければならない条件下でその様なことが出来たのかなと思っています。ちなみに、アポロ11号の船長がニール・アームストロング(月面へ着地)月着陸船イーグル操縦士バズ・オールドリン(月面着陸)司令船コロンビア操縦士マイケル・コリンズ(月軌道を周回)でした。



ニコニコBOX.....

- 先週の夜間例会の後、遅くまで歌いすぎてご迷惑をおかけしました 対馬会長
- 3月13日14日と2日間会長エレクト研修セミナーに行つて参りました ニノ宮エレクト
- 先週の送別会、また2年間大変お世話になりました ありがとうございます 松崎会員
- 先週の職場訪問例会、松崎会員の送別会でのカラオケ大会での賞金をすべてBOXにいただきました 河部会員の審査委員長 ありがとうございます 中川会員

前 回	658,000円
今 回	17,000円
累 計	<u>675,000円</u>

📖 プログラム……………

「我が生き立ち」



古野 晃洋 会員

私は昭和39年7月、留萌市立病院にて生まれました。母親曰く、「手を出した」ため、帝王切開になったそうです。この年は、東京オリンピックが開催され、東海道新幹線は開業し、海外旅行の自由化でヨーロッパの旅がパッケージとして売り出されました。芸能情報では西郷輝彦がデビュー、「ひょっこりひょうたん島」放映開始、「おばけのQ太郎」連載開始で、ヒット曲では、井沢八郎の「ああ上野駅」、都はるみの「あんこ椿は恋の花」でした。

昭和39年留萌市においては、留萌市の市章を制定。昭和42年開基90年、市制20周年記念事業を行う。43年市立病院を新築、留萌市旗を制定する。44年留萌小学校が全焼する。45年ヘインズ三泊沖で座礁する。46年留萌高校甲子園に出場するなどがありました。

私は昭和51年に札幌啓明中学校へ進み、昭和54年旭丘高校へ進学しました。昭和51年頃の日本は、初の五つ子が誕生、実用衛星「梅」の打ち上げ、初の気象衛星「ひまわり」の打ち上げ、有珠山32年ぶりの噴火といった出来事があり、芸能ではキャンディーズの引退宣言、アントニオ猪木の格闘技世界一決定戦、ロッキード事件、王貞治選手のホームラン世界最高記録達成などがありました。この頃のヒット曲は森田公一とトップギャラン「青春時代」、清水健太郎「失恋レストラン」、石川さゆり「津軽海峡冬景色」などでした。

留萌市では昭和55年に留萌地方合同庁舎完成、56年海洋エネルギー調査地の認定を受ける、57年黄金岬で海洋開発ボーリングを実施などがありました。

高校を卒業して東京の私立大学へ入学、理学部で数学を専攻し、企業の情報システム部門で業務システム開発や、保守に従事させていただ

きました。この頃の日本では、日本電信電話会社（現NTT）や日本たばこ産業株式会社が発足し、任天堂のファミコンゲーム「スーパーマリオブラザーズ」や「ドラゴンクエスト」が発売され、初の日本人宇宙飛行士に内藤千秋が内定といった時期でした。また、アサヒビールのスーパードライの発売、岡本綾子全米女子ゴルフ初の外国人賞金王といった話題が上っていました。この頃の流行歌は、チェッカーズ「ジュリアに傷心」、CCB「ロマンティックが止まらない」、プリンセスプリンセスの「ダイヤモンド」、光ゲンジ「パラダイス銀河」などでした。

留萌市では、昭和59年に第1回やん衆どすこほい祭りが開催され、昭和63年8月集中豪雨による被害で、被害総額61億8千万円、床上浸水1270棟、床下浸水2106棟だったと思います。平成元年留萌ダム着工、るるもっぺ憩いの森完成、留萌～深川間高規格道路の着工決まる、CCZ計画建設省の認定を受ける等がありました。

私はその後北海道へ戻ってからは、電気工事会社でFAXOCRのシステム、集中検診システム、融通電力計算システムの担当などを経て指川電設工業株式会社（現フルノ電気工業株式会社）に勤務を始めました。勤務し始めた頃の指川電設工業は、留萌市の上下水道事業用電気設備を日立製作所と共同で整備し、以来設備の保全に努めておりました。また、下水道設備では汚水ポンプ中継所や留萌浄化センター電気設備工事と、下水道事業用電気設備の保全にも深く関わってきたところです。そして平成15年小平トンネル、16年231号日泊トンネルの照明、防災設備設置、道路照明をはじめとする道路付帯設備の維持補修を手がけ、北の灯り留萌管内の灯りの維持補修につとめております。この頃の日本では、製造物責任（PL法）成立、関西国際空港開港、ウィンドウズ95日本版販売、デジタルカメラ、携帯電話の発売といった時勢で巷では、もののけ姫やサッカーW杯出場決定、土井さん宇宙遊泳成功といった話題で持ちきりでした。長野冬季オリンピックではジャンプ団体、スケート男子500メートルで金、芸能では「踊る大捜査線 MOVIE」、流行歌では「団子三兄弟」、

モーニング娘「ラブマシーン」、スマップ「夜空ノムコウ」などがヒットした時代です。留萌においては、平成6年るもっぺ憩いの森「小鳥がさえずる森づくり運動」で環境庁長官賞を受賞、7年留萌のニシン漁撈(旧佐賀家番屋)用具が国の重要有形民族文化財に指定されています。9年は40年ぶりのニシン漁で留萌港に活気、五十嵐町公営住宅(健康福祉住宅シルバーハウジング)完成、礼受牧場内に風力発電の風車設置、10年るもっぺ憩いの森緑化推進運動功績で内閣総理大臣賞受賞、留萌市民栄誉賞受賞者の若松勉さんがプロ野球ヤクルトスワローズの監督に就任などがありました。

私が妻と結婚したのもこの頃で、その後西暦2000年に長男「貴大」が生まれ、ばたばたしていますけれど、どうにか3人で努力して暮らしております。

会社の方に目を戻しますと、今年竣工します留萌ダムにおきましては、市内に住む方々の安全・安心な暮らしの実現のために、ダム監視用カメラ設備やダムコンピュータの改定、水質観測用テレメータ設備といった情報通信事業分野にも尽力させていただいております。この頃は日本では小泉内閣が発足し、イチローが活躍、日本に帰国した拉致被害者が故郷入り、巨人松井が大リーグ入りなどといったニュースが巷を賑わしていました。また、ノーベル物理学賞、化学賞を小柴さん、田中さんが受賞したのもこの時期でした。中国のLenovoがIBMのパソコン事業買収を発表、ソニーの井出会長兼CEOら経営陣が退任し、ハワード・ストリンガー氏が後任に就いたのもこの時期でした。ゴルフでは、石川遼がプロ転向、北海道洞爺湖サミットが開催され、京都議定書も話題になったものです。

平成21年6月に社名をフルノ電気工業へと改めさせていただきました。今後ますます少子高齢化が進み、そんな世の中だからこそ、またグローバルに人が行き来する世の中だからこそ、安全安心な暮らしを支える技術は不要にならないと考えております。今までご紹介させていただきました留萌の歴史を振り返り、緒先輩に築

き上げていただいたこれらの資産を、有効に活用し、コンピュータに例えますと、先輩たちがハードウェアを整備してくださり、そのハードウェアの中で皆が楽しめ、安心でき、感動するソフトウェア、アプリケーションを整備していくことが次代の我々に与えられた社会作りのテーマじゃないかと思っております。これからも、弊社の基本理念に当たります、技術力の研鑽に努め、公共のためになる事を行っていきたいと思っております。そんな弊社並びに我々スタッフを温かく見守っていただけたら幸いです。ご清聴ありがとうございました。



燕 美雪 会員

私は、父・斎藤正義、母・久美子の1男1女の長女として昭和47年11月4日、留萌市にて生まれました。私の名前を美雪とつけてくれたのは、父と祖父です。ちょうどその日は初雪が降り、その雪がとてもきれいだったからだと思っています。以前、私の名前の画数ってどうなのと尋ねた時には、「そんなの考えなかったよ」の一言。そうゆうものにはあまり興味がなかったみたいです。父は三協建設に勤めており、ほとんど家にいる事はありませんでした。その代わり、祖父と祖母がおりましたので、あまり寂しさは感じる事はありませんでした。祖父とはよく銭湯へ行きました。当時の私の家は木のお風呂で、煙突がついていて、薪でたくお風呂でしたので、煙突掃除をする時は必ず祖父と弟と銭湯へ行って、コーヒー牛乳を飲むのが楽しみでした。そんな祖父も、私が幼稚園の時に他界しました。祖父は当時、山高建設の常務をしており、現役で亡くなりましたので、葬儀にはたくさんの人が参列していたのを覚えています。それからは、母と祖母と弟の3人である事がほとんどでした。

留萌小学校へ入学しましたが、その頃から習い事を始めました。週のほとんどが習い事で、ピアノは5歳から習っていましたが、ガールスカウト、お習字、英会話にも通ってました。

ピアノはあまり練習をしなかったので上達もせず、ガールスカウトもラルズの前で何回か募金活動をした位で、キラリと光るものもありませんでしたが、ただお習字は好きで、学校の書初めは祖母と一緒に、年の初めの2日に必ず書きました。父はお盆や正月には家に帰ってきましたので、その時には必ずお墓参りを兼ねて旅行に連れて行ってくれたり、冬はよくスキーに連れて行ってくれました。家の横に雪で迷路を作ったり、そりで遊べるように雪山を作ってくれたり、普段居なかったせいか、私たち兄弟の為に色々楽しませてくれました。しかし、あまり帰って来なかった父でしたので、何となく他人行儀というか、慣れない気持ちがありました。弟は父にじゃれついたり、甘えたりしていましたが、私はなかなかそれが出来ず、よそのおじさんまではいかないけれど、一線があったように覚えています。今ではそんな気持ちはありませんが…。

中学校に入り、吹奏楽部に入部したため、習い事をすべてやめてしまった代わりに、幸町にあった鳥海学習塾に通っていました。今考えると、両親は私にいったいいくら月謝を払っていたんだろうと、頭が下がります。

高校生になり、楽しい高校生活を送っている最中、今はあるかどうかわかりませんが、1年生の校舎の目の前に商店がありました。そこに行くのに窓から土足で行く人が多く、先生達に注意を受けていたのですが、何故か私もトライをしてしまって、窓から飛び降りた瞬間に先生に見つかり、商店へ逃げ込みましたが行き止まりで、髪をわしづかみにされて、外に出され、往復ビンタをされました。その話は友人が集まると今でも言われます。部活は弓道部に所属してました。月1回だと思ったのですが、勤労者会館での射会というものがあり、今いらっしゃる森幹雄さんと一緒に弓道をしました。森さんは矢を放つとき、「シューッ」という音がするので、私たち部員の中で「風」とあだ名を付けていた事を覚えています。高校生ということもあって、あの頃は色々な物や人に名前を付けていました。今考えればとても失礼な事で、若

気の至りだったなと思います。弓道は全道大会にも出場しましたが、今じゃ何位だったかも忘れてしまいました。

高校卒業後、進学のため札幌で一人暮らしをし、短大に通い、札幌の生活を楽しました。まず、札幌は夜が明るい、夜でも人がいっぱいいる事に感動しました。今では留萌にもコンビニが何軒かありますが、当時はセイコーマートだけで、それも24時間ではないので、札幌のコンビニがとっても新鮮でした。ただ、行き慣れていないので、コンビニに入るのが怖いというか、コンビニにいるお客さんが怖いと思ってしまい、買い物も普通のスーパーで買い物をしていました。そんな短大生活を送っていましたが他の人と少し違った所がありました。それはアルバイトが禁止されていた事で、学生は普通アルバイトが付き物みたいなところがありますが、私の母はととても厳しく、高校生の頃も門限が5時6時が当たり前でした。それがいやで私は札幌に出ましたが、アルバイト禁止。内緒でアルバイトをし始めた時には、家に電話をしても出ないと、友達の家で電話をして聞き込みをしたりで、アルバイトは1ヶ月で辞めてしまいました。母曰く「学生は勉強が本分だから」と。そんな言葉に私も強い反抗も出来ず、アルバイトもしない短大生活を送りました。バイトをしないといって勉強ばかりしていたのではなく、授業は代筆を頼んでカラオケボックスに何時間もいたり、友達の家でサボりに行ったりした事もありました。しかし、無事栄養士の資格をもらい卒業しました。

その後は札幌に就職を希望し、当時の就職状況は不景気になり始めてでしたが、クラスで2番目に就職も決まりました。就職はF Pの家の松本建工に入社いたしました。面接の時には「アルバイトの経験は？」と聞かれましたが、経験はほとんどありませんと答えました。どうしてですか？と聞かれ、母が反対していましたと答えた時に、「箱入り娘なんだね」と言われたのがとても嫌で、その時は母を恨みました。

入社後は総務部に配属され、1年目はパソコンを覚えたり、電話の対応を覚えたりと、本当

第34回 3月17日(水) 天候/雪

に社会人としての基礎を学ぶ1年でした。最初のお給料をもらった時は、思わず号泣してしまい、「今時めずらしい子だ」とも言われました。それだけ自分のがむしゃらだったのだと思います。その後は、資産の多い会社でしたので、固定資産の管理や減価償却の計算、月次決算資料の作成など、のめり込むタイプというのが上司に伝わったのでしょうか、会社を運営する上で必要な殆どの事を学ばせていただきました。全国で360名の従業員がいる中小企業で、まだ株式も未公開でしたが、株式公開という大きな行事にも参加できた事は、なかなか体験できない事だと思っています。そんな中、女性が出張に出る事は今までなかったのですが、初めて出張に出させていただき、全国を回らせていただきました。社長の秘書を兼務していたので、各支店、営業所、工場に行ってもとても待遇が良く、普通だったらあまり話すことが無い支店長クラスの人たちとも交流を持って、とても勉強になりました。

残念ながら今はこの会社も倒産してしまい、(株)ニチハという建材メーカーの100%子会社として、従業員は継続雇用されています。なので今でも、交流している上司や仲間はおります。たまに留萌にも寄ってくれて、その時には必ず顔を見に来てくれます。そんな出会いを私は大切にしたいと思っています。中でも私にとっても影響を与えてくれた上司がおります。直属の部長で、札幌市長の元秘書としても活躍されていた方で、一言では言えませんが、人柄も仕事も全てにおいて、こんな人になりたいと思わせる何かを持っている方でした。

そんな中、私も年頃になりお見合いのお話などもありましたが、若い頃はまず留萌に帰って来る事など頭にもなく、札幌で結婚し、豊平区あたりにマンションを持ち、子育てしながら旦那さんの給料で生活し、自分はパートに出てと…。そんな未来予想図を立てていましたが、何故か今の主人である燕と出会い、二ノ宮さんの仲人の下結婚し、留萌に戻ってくることになりました。ある意味自分が思っていた未来予想図に近い形になっていましたが、私の性分なのか、

最初は日々が退屈で、子供も居なかったので、札幌に帰りたくて仕方がない日々でした。そんな中、主人の父の経営する熱源を手伝うようになりましたが、仕事といっても前の仕事とは違い、「自分でも何かやりたい」という気持ちが強くなるばかりでした。配管業は男性の多い職場で、そんな中、私も仕事を覚えたくて現場に出たりした事もありました。しかし、その内にだんだん不景気になり、自分の中でも何か出来る事を見つけたいと思っていた頃、今の斎場の計画の話がありました。もともと大石とは学生の頃から知り合いで、JCでも一緒に家族ぐるみの付き合いをしていました。

そこで、斎場の建設や組織の作り方などの相談を受けている内に、働く事になりました。錦堂花屋は前からありましたが、斎場を建設し、そこで働く従業員を雇ってというと、ほぼ初めからのスタートで、すべて一から作らなければなりませんでした。元々起業願望というものがなかったので、自分の会社でも作るつもりで現在まで頑張っ参りました。

しかし、会社を運営する上で必要な事はある程度わかっているけど、葬儀というものは全くの素人で、1年間大石について、お客様との打ち合わせや葬儀の流れ、湯かんなど一通りの事を学びました。教わると言っても見て覚える状態でしたが、仕事の的には適していたのかと、今では思っています。亡くなられた方に触れるのも最初から抵抗はありませんでしたし、どうしたら喜ばれるかしか考えられませんでした。自分が亡くなった方とこんなに密接に向き合うなんて考えもしませんでした。今では最高の職業だと思っています。自分の体が続く限り、ロータリー共々続けていきたいと思っています。